

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 心原性ショック患者におけるベッドサイドでの Impella 離脱後の perclose を用いた経皮的止血法の検討
	研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院循環器内科において、2019年4月～2022年4月に Impella CP/smart assist 治療を受け、ベッドサイドで post-closure を施行した患者 15 名。 (研究番号：17-109「日本心血管インターベンション治療学会内登録データを用いた統合的解析」に登録されている方)
	研究の目的 心原性ショック患者の Impella 離脱時のベッドサイドでの post-closure の有効性と安全性を検討することが目的である。
	研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2027年3月まで
	利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等
利用する者	機関名および責任者名

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>の範囲</p>	<p>浜松医科大学 前川 裕一郎</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 内科学第三講座 前川 裕一郎</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下 問い合わせ先 をご確認ください。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にごその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 内科学第三講座</p> <p>担当者： 担当者：鈴木 佑一・前川 裕一郎</p> <p>TEL： 053-435-2356</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	E-mail : adj16@hama-med.ac.jp ymaekawa@hama-med.ac.jp
--	--